

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和6年度 第1回 監査委員定例協議会

開催日時 令和6年5月7日(火) 午前9時10分～午前11時50分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、寺澤 潤、稲葉 寛之

事務局長 萩原 健

書記 柴 秀和

山田 和誠、山田 裕 渡辺 篤史、蝦名 倫代

宇佐美亜希、神山 悟、谷 梓

青野 洋平、山本 和延、齋藤 升美

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査等(3月分)

柴次長から、事務局で実施した企業会計のつり銭資金等の現金在高検査の結果について、出納事務の重要な点においておおむね正確に行われていた旨の報告並びに病院事業会計及び水道事業会計を対象とした棚卸資産実地検査並びに各種会計の有価証券等検査の結果について、いずれも適正に処理されていることが確認された旨の報告があった。

なお、病院事業会計及び水道事業会計の棚卸検査の対象件数についての質問があり、改めて回答することとした。

その後、山田次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告の後、各会計の区分に応じて、監査委員による説明聴取や質疑のほか、事務局から預金証書等の確認状況の報告を行った。

(1) 説明者等

ア 各種会計 宇佐美係長(監査第2係)、会計室次長

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、病院経営企画課長、病院経営企画課病院管理担当課長、医事課長

ウ 簡易水道事業会計 保健衛生医療部長、保健衛生医療課長、保健衛生医療課簡易水道担当課長、保健衛生医療課市立病院・公営企業担当課長、上下水道経理課長

エ 水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

オ 下水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

(2) 発言等

ア 各種会計

冒頭、3月末に公金総括店である静岡銀行が、同銀行において収納した資金を会計管理者口座に入金しなかったことについての報告が会計室次長からあった。

(白鳥委員)

今年度の指定金融機関である清水銀行にも、このような事例があったことを情報共有してほしい。

(寺澤委員)

このようなケースは今まであったのか。

(会計室)

初めてである。

(寺澤委員)

あくまで銀行側のミスということか。

(会計室)

そのとおりである。

(寺澤委員)

今後このようなことがないよう徹底してほしい。

(遠藤代表)

3月29日は翌日から土日なので、市も金融機関も前年度の最終営業日であるが、勤務時間終了後に金額が合わないことに気が付いたのか。

(会計室)

そのとおりである。

(遠藤代表)

まずは自分たちのミスでないことを確認した上で、翌営業日である4月1日に銀行に連絡したところ、確認が取れたということか。

(会計室)

そのとおりである。

(遠藤代表)

このような事例があったことを他の金融機関にも共有してほしい。また、企業会計にも情報を共有し、このようなことがあった場合の対応がスムーズにできるような体制を整えてほしい。

結果として静岡銀行のミスだったが、3月29日に金額の差について原因がわからず、結局原因がわかったのは4月1日であり、その間金額が合わなかったことになる。これが事務事業上の事故等に当たるのか、コンプライアンス推進課に確認したのか。

(会計室)

コンプライアンス推進課にはこの事案を報告し、事故・ミスには該当しないということを確認した。

(遠藤代表)

金額が合わなかったことで、影響はあったのか。

(会計室)

特になかった。

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

8ページに利息計算書があるが、基金の利息を示すために添付しているのか。

(清水病院事務局)

基金の定期預金が3月31日で満期となり、残高証明書が発行されないため、基金の金額が分かる書類として添付している。

(遠藤代表)

決算見込において、入院患者数や入院収益が減少しているのは看護師不足による影響ということであるが、昨年度から看護師の負担軽減に取り組んでいるものの、まだ看護師不足は解消されていないということか。

(清水病院事務局長)

そのとおりである。

(遠藤代表)

静岡病院においても看護師不足なのか。

(清水病院事務局長)

静岡病院においても看護師不足で一部の病床を制限したと聞いているが、その後の状況は聞いていない。

(遠藤代表)

昨年度確認した内容として、患者数は冬に増加する傾向にあるが、一方で看護師不足により1病棟を閉鎖している状態なので、前年度並みに患者を受け入れることが難しいということであったが、今年度もその状態が続くということか。

(清水病院事務局長)

そのとおりである。

(遠藤代表)

解消の見通しは怎么样了のか。

(清水病院事務局長)

昨年度の看護師の負担軽減の取組として、入院時の説明を集約して行う説明センターを設置している。今年度は、このほかに医療DXなどへ取り組んでいくため、1つの病棟をモデル病棟として何が看護師の負担軽減につながるのかを検討していきたいと考えている。

(遠藤代表)

それは4月から始まっているのか。

(清水病院事務局長)

まだ始まっていないが、看護師長等と検討を進めているところである。

(遠藤代表)

いつから始まる予定なのか。

(清水病院事務局長)

今月中に全体会議を開き、病棟の意見を聞きながら進めていきたいと考えている。

(遠藤代表)

大きな赤字を抱える中、看護師が不足して患者を受け入れることができないという状況は、公営企業の経営上大きな課題であり、スピード感を持ってしっかり取り組んでもらいたい。

(寺澤委員)

過去に厚生委員会において、病院の赤字について集中的に審議した記憶がある。昨年度と比較し患者数は減少しているようだが、順調に経営改善されているという認識でよいのか。

(清水病院事務局長)

一般会計負担金を除く赤字は当時 22 億円程度だったと思うが、赤字は徐々に減少しており、現在は新型コロナウイルス感染症に係る空床補償を除くと約 14 億円の赤字となる見込みである。

経営計画においては、令和 5 年度は一般会計補助金を 9 億円程度にする予定となっており、計画に遅れが生じている状況である。

(稲葉委員)

看護師の賃金は他病院と比較して差があるのか。

(清水病院事務局長)

現在清水病院には医療コンサルが入っており、全国の黒字の公的病院と比較をしているが、その中では清水病院の賃金水準は割と高い水準となっている。

(稲葉委員)

看護師は業務が大変で辞めてしまうのか。

(清水病院事務局長)

新型コロナウイルス感染症への対応で業務量が増加したことにより、令和 4 年度に看護師の退職者が増えた。また、看護専門学校の生徒も減少している状況である。

(寺澤委員)

医師不足の方はどうなのか。

(清水病院事務局長)

医師不足も厳しい状況であるが、医師に関しては基本的に大学病院の医局からの派遣になるため、医局へ訪問しパイプを太くすることで安定的に医師を派遣してもらいたいと考えている。

(白鳥委員)

今月抽出した医療職等確保費はどのような経費なのか。

(清水病院事務局長)

医学生及び看護師等への修学資金貸付金である。貸付けするときは資本的支出で計上するが、清水病院で働いたことにより免除するときに費用化しているものである。

ウ 簡易水道事業会計

(白鳥委員)

決算見込みと現金出納検査調書の数値にずれがあるが、その理由は何か。

(保健衛生医療課)

補助金を一般会計から繰り入れているが、使わなかった分は精算を行うためである。

(白鳥委員)

この決算見込みは、損益ベースなのか、それとも収支ベースなのか。

(保健衛生医療課)

収支ベースである。

(遠藤代表)

決算見込みでは、一般会計からの赤字補填的な繰入れを見込んでいると思うが、その分を除いた収支はどのようになっているのか。

(保健衛生医療課)

改めて回答する。

(遠藤代表)

回答は改めてでよいが、毎年度確認していることでもあるので、赤字補填的な繰入れがないとした場合の収支は分かるようにしておいてもらいたい。

エ 水道事業会計

冒頭に、上下水道経理課から、資料の修正漏れに伴い、2月分例月出納検査調書の資金予算表のうち、事業収益及び未収金のそれぞれの当月執行済額及び合計の金額に誤りが生じていたことについて報告があった。

(稲葉委員)

水道管の更新について、計画に対しての進捗はどうなっているか。

(上下水道経理課)

繰越工事が増えている状況で、計画どおりに進んでいるかという点と厳しい状況である。入札不調となり再発注しても落札されないことがある。

(遠藤代表)

入札不調についてはこれまでも様々な対策を講じているが、その効果はどのようか。

(経営管理部長)

技術者の人材育成のために業者向けの資格取得の講習を実施したり、予算も単年度ではなく債務負担行為にしたり、着手日選択制度の導入などを行っている。

令和5年度の更新率の目標は達成する見込みだが、根本的には人手不足があるので、長期的な視点に立って更新率ばかりにこだわらず、重要なところを優先的にやっていく方向で計画も見直している。

(寺澤委員)

現時点で令和5年度の有収率は、例年と比べてどうか。

(経営管理部長)

ほぼ横ばいである。昨年度3か所くらいの配水池や取水施設を調べたが、特に大きく漏水しているものは見つかっていない。

(遠藤代表)

資料の訂正について、昨年の下水道事業会計と同様、修正が生じたときに影響のある資料の全てを把握されていなかったということなので、今後、何らかの修正が生じた場合には、その修正がどこまで影響するのかをきちんと把握して漏れなく修正されるようお願いしたい。

オ 下水道事業会計

(寺澤委員)

有収率は横ばいか。

(経営管理部長)

そのとおりである。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第1号 令和5年度各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第2号 令和5年度井川財産区会計及び両河内財産区会計歳入歳出決算審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第3号 令和5年度決算に基づく財政健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第4号 令和5年度決算に基づく公営企業経営健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

オ 協第5号 静岡市監査基準の改正について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

カ 協第6号 指摘事項に対する措置状況（学校監査）について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

措置状況の公表について、監査委員の了承が得られた。

(2) 報告事項

ア 報第1号 代表監査委員の職務を代理する監査委員の指定について

(ア) 説明者

遠藤代表監査委員

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和5年度第12回定例協議会議事録の公表について・・・・・・・・山田次長補佐が説明

イ 5月・6月の日程について・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長